

令和6年度 ミュージアムを活用した子どもの感性育成事業

目的

- ・本物の芸術と向き合いながら充実した鑑賞の授業を行うことを通して、児童の豊かな感性を育む機会を創出する。
- ・図画工作の鑑賞領域における教員の更なる指導力向上に資する。

I 県立美術館での鑑賞活動の様子

令和6年度は、4年生と特別支援学級の児童を中心に、県内13市町の31校を県立美術館に招待し、鑑賞活動を実施しました。

児童は、自分なりの見方や感じ方で作品を鑑賞し、同じ班の児童と感想を自由に伝え合いました。また、振り返りの中で「心に残った作品と心に残った理由」について発表する場をもち、美術館を楽しむなかで感じたことを伝え合い交流しました。その活動の様子を紹介します。

Step 1

美術館に着いたら、ガイドスタッフとのご対面。はじめの会で鑑賞のめあてと美術館での三つの約束を確認しました。

【めあて】美術館を楽しもう！

〔楽しむためのステキなヒント〕

- ① いろんな見方を試そう。
- ② 自分なりの感じ方を大切にしよう。
- ③ 作品から感じたことを友だちと伝え合おう。

〔美術館での三つの約束〕

- ① 作品にさわらずに見よう
- ② 歩こう
- ③ 声の大きさに気をつけよう



Step 1

Step 2

展示室では5人程度の班でガイドスタッフと一緒に作品鑑賞をしました。

描かれたものを隠して見て「おお！」、手で枠をつくってのぞいて「あっ！」、作品のまねをしてみても「ふふふ」など、いろんな声が聞こえてきました。また、感じたことを班で自由に話し、見方や感じ方の違いを楽しみました。



Step 2

Step 3

展示室から帰ってきて、まずは同じ班のみんなと振り返り。「あの作品が気に入った！」「私はあの作品！」うちの人に素敵なお土産話ができただろうか？

みんなの前でお気に入りの作品について発表し、「そうだった！」「こんな感じ」「こんなのもあったよ」と身振り手振りで教えてくれる姿がとても素敵でした。

楽しい時間はあっという間でした。帰るときにはガイドさんとタッチ。また来てね！



Step 3

鑑賞活動の様子



のぞいてみる



音を聞いてみる



光も空も作品



椅子に注目してみる



先生たちも児童と同じように鑑賞してみる



体で表現してみる



手で持ってみる（ガラス越しに）



同じポーズをとってみる



お話ししてみる



下から見上げてみる



雨が降ると水たまりが

鑑賞活動後の児童の感想

心に残った作品はどんな作品でしたか。

「浜の朝」という作品は、なぜかなんにもない孤独な島の朝は、とてもさみしくて悲しそうに感じました。
(大分市立長浜小学校)



「バラと女」は、前から見たら泣いていて顔を隠している人に見えたけど、角度を変えて見ると泣いていないんだと思いました。よく見ていると自分もその人物になっているように感じました。
(大分市立小佐井学校)

「一軒の家」は家がさみしそうにも見えるし暖かい感じもして不思議でした。人は描かれていないけど、家の中にいる感じがしました。
(由布市立由布川小学校)



花しょうぶの葉っぱが1つ1つ丁寧に描かれていて、重なっているところが白く隙間ができているところが細かく描かれていて驚きました。花の模様の描き方もきれいでした。
(大分市小佐井小学校)

「明けゆく海」は、まるでそこにいるかのように感じました。何重にも色を重ねているのもすごかったです。
(大分市立明野東小学校)



うすく目をつむると太陽が雲の後ろにあるように見えました。
(日田市日隈小学校)

竹を編んでできたお皿が、左右に動いて見ると色が変わって見えたり、正面から見ると編んだ竹の隙間が見えたりしてこんな見方があるんだなと驚きました。
(日田市立咸宜小学校)

1階のプールの作品が、かくれたところにお金や鍵があって、特別なメッセージがありました。他にないか探したい気持ちを抑えられなかったです。
(大分市立坂ノ市小学校)

引率の先生の感想

- ガイドの方の問いかけの言葉が大事だと感じました。「どのように感じた?」「何が隠れているんだろう」等の「何」が「どのように」という問いかけをたくさんしていただいたおかげで、子どもたちの思いを引き出しせていたと思います。
- 「図工が苦手」という児童が、楽しんで鑑賞し、自分から発見したことを話してくれました。この機会がなければ体験できないことでした。
- 子どもなりの素直な反応がたくさんありました。子どもたちの目で感じたことを子どもたちの言葉で伝え合う姿がすてきでした。また、ただ見て終わるのではなく、色の使い方や造形の違いなどいつもは気づかないことにたくさん気づき伝え合っていました。子どもたちにとっても教員にとっても学びの多い時間となりました。
- 長時間の鑑賞で意欲が保てるのか心配でしたが、最後まで意欲的に鑑賞していました。少人数グループであることも効果的でした。
- アクリルでできた立体作品(作品: 右記2次元コード)を通して現われる青い光を「大切に持って帰ろう」と手の中にしまっている姿が印象的でした。



Ⅱ 美術館での鑑賞後の授業実践の報告

小学校学習指導要領（平成29年告示） 図画工作科の「指導計画の作成と内容の取扱い」では、「題材など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、児童の主体的・対話的で深い学びの実現を図るようにすること。その際、造形的な見方・考え方を働かせ、表現及び鑑賞に関する資質・能力を相互に関連させた学習が充実するようにすること」と示されています。また、鑑賞の指導に当たっては、「地域の美術館などを利用したり、連携を図ったりすること」が示されています。

各学校では、美術館で体験した「自分なりの見方や感じ方をもつ」こと、「感じたことを友だちと交流し、感じ方の違いを楽しむ」ことを図画工作の授業でも取り入れ、表現力を高める指導の工夫が求められます。

今年度の参加校も、美術館での鑑賞の活動を受けて、学校で図画工作科等の授業実践に取り組み、児童の豊かな感性の育成を目指しました。参加した学校の実践を紹介します。

【実践報告】

絵画

新たなアプローチで挑戦する自画像表現の実践

国東市立旭日小学校

絵画

表現方法を工夫した絵画表現の実践

大分市立明野東小学校

水彩
鑑賞

色作りから共同作品につなげる実践

日田市立日隈小学校

立体

表現に合わせて材料を工夫する実践

竹田市立城原小学校

鑑賞

体を使った鑑賞の実践

九重町立南山田小学校

鑑賞

作品の題名を考える実践

日田市立咸宜小学校

デジ
タル

タブレット端末上で作品を制作する実践

大分市立坂ノ市小学校

【事後実践】ピカソに挑戦

ピカソの作品の鑑賞を通して、新たな手法について知りました。その後、その手法を生かして自画像を制作することで、キュビズムの表現のおもしろさを感じ取りました。作品は、はがき大サイズの用紙にカラーペンを使って描きました。美術館での鑑賞活動の後、新たな表現手法を知ること、作品を見る視点をさらに広げることができました。



ピカソがなぜ、あのような表現をしたのか、少し分かりました。

一枚の紙に様々な方向から見た様子をまとめるのが難しかったが、面白かったです。

キュビズム的技法を理解するのは難しいと思いますが、表現の特徴のまねをして自画像を制作することで、作者の意図や工夫を想像することにつながります。カラーペンを使うことで細部の色塗りがしやすくなり児童にとって楽しみながら取り組むことができる実践です。



表現方法を工夫した絵画表現の実践

大分市立明野東小学校

【事後実践】不思議な花の世界を描こう

一人一人が思い描く「不思議な花の世界」を表現するために、「絵の具」以外に、「クレパス」「カラーセント紙」「折り紙」など様々な用具・技法を用いて表現しました。水の量を変えてみたり、色を混ぜたりと個々に工夫を凝らしながら花の色を水彩で塗り、仕上げにスパッタリングで、花に命を吹き込んで作品が完成しました。子どもたちは「自由に自分らしさ」を表現できることに目を輝かせながら楽しんで活動を行っていました。

赤など自分が綺麗と思う色を選んで塗りました。
でも友達の綺麗な色は自分とは違って、みんなそれぞれ好みが違うんだろうなと思いました。

この色とこの色は少し離して塗った方がいいな。

少し遠くから見て〇〇の世界になっているかな。



美術館での鑑賞活動で、展示されていた作品の色使いや色が作り出す世界に興味を持ち、実際の作品作りにつなげています。自分がきれいだと思う色と、他者がきれいだと思う色を比べることで、それぞれのよさを感じ取ることができている実践です。



【事後実践】 色合いひびき合い

絵の具を画用紙に直接出して指で色をまぜ、色の混ざる様子を楽しみながら色のカードを作成しました。作ったカードを机上に置き、色の組み合わせやひびき合いの良さを鑑賞しました。その後、黒板に模造紙を貼り、自分の作成したカードを思うように貼り、何に見えるか考えました。美術館で学んだいろいろな見方をつかって、遠くから見たり、近くから見たり、逆さまにしたりして想像力を働かせて鑑賞しました。自分とは違う友だちの見方に驚いたり、感心したりする様子もあり、自分にはない異なる考えを認めたり、感じたりする鑑賞の方法を学ぶことができました。



・指で混ぜると、途中の色がおもしろいね。
・ゆっくり混ぜるとグラデーションみたいになるね。

帽子の中から、いろいろな物がとび出しているのに見えるから題名は「マジック」!

・ここに同じような色が集まっているね。
・色んな色が飛び散っている感じがするね。

いろいろな色が空に向かっていくのに見えるから題名は「花火」かな。



指で色を混ぜながら塗ることで、偶然生まれる模様や、色の変化などを楽しみながら制作をすることができます。また、そのカードの色の関係などを鑑賞したり、並べるときにイメージを広げたりすることで新たに作品を作り出し、さらにその作品を鑑賞することができる実践です。

表現に合わせて材料を工夫する実践 竹田市立城原小学校

【事後実践】 いってらっしゃい 修学旅行!!

自分の作りたい・表現したいを引き出させるために、作品づくりの目的を明確にしました。本題材では、6年生の修学旅行に向けて、児童がデザインした「てるてる坊主」を制作しプレゼントすることにしました。日頃からお世話になっている6年生のために、どのようなてるてる坊主なら喜んでもらえるか、また、自分はどんなてるてる坊主をプレゼントしたいのか、表したい形や色を工夫し、いろいろな角度から作品を立体的に捉え、制作に取り組むことができました。



このてるてる坊主のおかげで晴れてほしいな。

・さくらんぼみたい。
・ギザギザにしたい。
・立体的になるようにしたい。

自分に似たてるてる坊主にしたい。
ぼくみたいに髪の毛を立たせるには、何を使ったらいいかな。



作品を作って他者に贈るという明確な目的をもって取り組んでいます。受け取る相手の気持ちや、自分の込めたい思いなどから主題を生み出し、表現方法を工夫して制作しています。自分に似せたり、6年生の修学旅行が晴れるように思いを込めたり、素直な気持ちが作品に表れています。



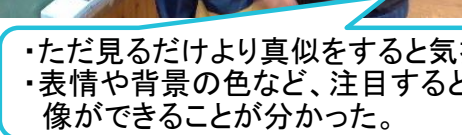
ポーズに注目した実践 九重町立南山田小学校

【事後実践】 ポーズのひみつ

人物画のポーズに着目し、ポーズをよく見て真似したり、形や色の感じ、それらの組合せによる感じを基に話し合ったりしながら、登場人物が何をしているのか、どのような気持ちなのかを考え描かれた場面を想像しました。初めに見て感じたことを交流した後、ポーズをとってみると新たな発見がありました。

- 
- ・下を向いて悲しそうな顔で手紙を読んでいるから、戦争に行った旦那さんからの手紙だと思う。
 - ・背景が明るいから嬉しい手紙だと思う。

- 
- ・二人の関係は姉妹。
 - ・親子かな。
 - ・分からない所を教えてもらっているんだと思う。
 - ・この人は家庭教師かな。

- 
- ・ただ見るだけより真似をすると気持ちや場面が分かりやすい。
 - ・表情や背景の色など、注目するところによっていろいろな想像ができることが分かった。

- 
- ・「俺は強いぞ」と言ってそう。
 - ・何かに驚いてそう。
 - ・かぶきっぽい。
 - ・何かに怒っている気がする。
 - ・戦いで気合を入れている。



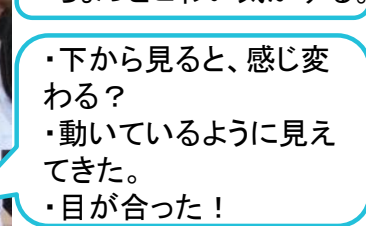
描かれた人物のポーズに注目するという視点で、作品を鑑賞しています。視覚だけでなく、実際に同じポーズをとることで、様々な感覚を働かせて鑑賞し、人物の心情や作者が表現しようとしたことを想像し、児童が自分の見方や感じ方などを深めることにつながっています。

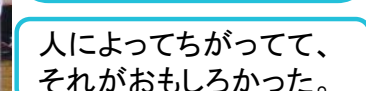
作品に題名をつける実践 日田市立咸宜小学校

【事後実践】 何に見える？ 何を感じる？

日田市出身の画家「宇治山哲平」について、略歴や、作品を紹介し、抽象画について、他の作者の作品も含めて鑑賞しました。その後、宇治山哲平の作品を見て、教室内に6つの作品を展示し、自由に見て回りながら、自分なりに作品に題名をつけました。どんな感じがするか出し合ったあと、作品名を紹介し、全員で付けた名前を出し合って、交流しました。

- 
- ・ここ、ここが好き！
 - ・ちょっとこわい気がする。

- 
- ・下から見ると、感じ変わる？
 - ・動いているように見えてきた。
 - ・目が合った！

- 
- ・人によってちがってて、それがおもしろかった。



教室を美術館のように複数の作品を展示して、ひとつひとつ見て回る鑑賞活動です。比べて見たり、形や色からイメージを広げて題名を付けたりしながら作品を味わっています。美術館の経験を生かして作品を見る視点が増え、見方・考え方が広がっています。



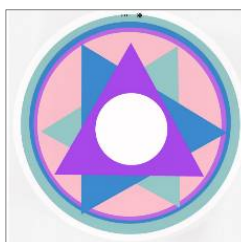
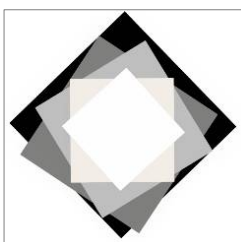
【事後実践】 まる・さんかく・しかくから生まれる世界

美術館見学で観た宇治山哲平の作品を想起させ、児童用タブレット内アプリ「Sketches School」の図形スタンプの中から丸、三角形、四角形の3つを使って、絵を描きました。はじめは、さまざまな形の大きさや向き、色、並べ方を試しました。（①重ねる、②組み合わせる、③並べる、④敷き詰める）自分の試した結果や、友だちの工夫を見ることを通して、自分のイメージをもち、イメージを基に図形スタンプで絵を描き、タイトルを付け作品を完成させました。

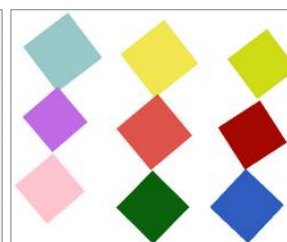
形の大きさや向き、色、並べ方の試作品



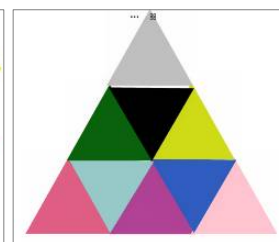
重ねる



組み合わせる



並べる



敷き詰める



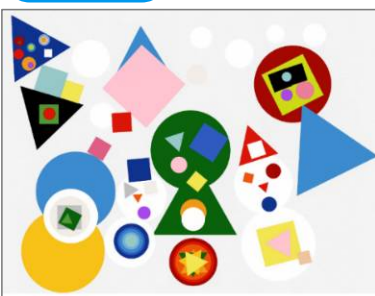
吸い込まれそう

- ・にじみたい。
- ・温かい感じもする。
- ・やさしい。

- ・星みたい
- ・家ができた
- ・口の中みたい
- ・草みたい
- ・ピラミッドみたい
- ・めんこみたい



作 品



色んな人が雪遊び



探しに行こう



宇宙



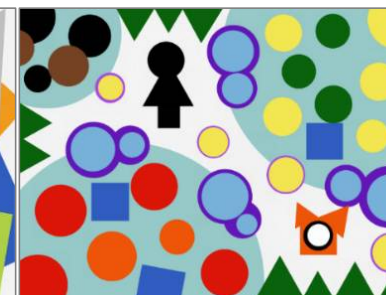
あさみこたらおもしろいせかい



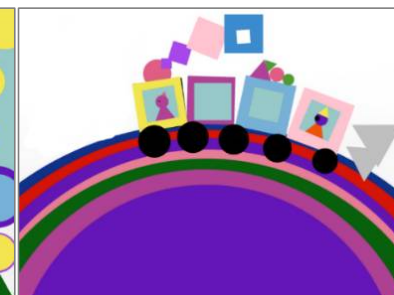
雨の日の朝



ぎゅうぎゅうに押される不思議ちゃん



ここはどこ？



虹色列車



タブレットを活用した作品制作の事例です、基本的な図形を用いた構成から、宇治山作品を鑑賞したことを踏まえてイメージを広げ主題を生み出しています。作品を作る前に構成の複数のパターンを試していることも有効な手立てです。想像力を働かせる場面でのICTを活用した表現の事例です。

令和6年度ミュージアムを活用した美術教育実践事業 実施日・参加校一覧

月	日	曜	AM : 10~12 PM : 13~15	市町村名	学校名
7	8	月	AM	九重町	南山田小学校
				竹田市	竹田小学校
				竹田市	豊岡小学校
				竹田市	城原小学校
7	10	水	AM	大分市	神崎小学校
7	12	金	AM・PM	大分市	南大分小学校
7	16	火	AM	日田市	小野小学校
			PM	臼杵市	福良ヶ丘小学校
9	26	木	AM	日出町	川崎小学校
9	30	月	AM	由布市	挾間小学校
10	2	水	AM	由布市	挾間小学校
10	9	水	AM	国東市	旭日小学校
10	15	火	AM	日田市	咸宜小学校
10	17	木	AM	豊後大野市	千歳小学校
				臼杵市	臼杵南小学校
10	18	金	AM	日田市	日隈小学校
10	31	木	AM	大分市	明野東小学校
11	5	火	AM	別府市	緑丘小学校
11	7	木	AM	九重町	飯田小学校
				日田市	桂林小学校
11	12	火	AM	由布市	由布川小学校
11	13	水	AM	杵築市	大田小学校
11	14	木	AM	佐伯市	上堅田小学校
11	21	木	AM	大分市	長浜小学校
11	22	金	AM・PM	大分市	坂ノ市小学校
11	26	火	AM	佐伯市	直川小学校
12	16	月	AM	宇佐市	柳ヶ浦小学校
1	16	木	AM	日田市	光岡小学校
1	21	火	AM	由布市	由布川小学校
1	23	木	AM	別府市	鶴見小学校
1	24	金	PM	大分市	津留小学校
2	4	火	AM	宇佐市	長峰小学校
2	10	月	AM	大分市	小佐井小学校